

# トムス プリウス (ZVW30) 専用 H.I.D. キット 35W 仕様

## 取扱説明書

**お取付け店様へのお願い：**この「取扱説明書」は取付け後、必ずお客様へお渡し願います。

この度は、**トムスプリウス (ZVW30) 専用 H.I.D. キット**をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。  
本製品は、**プリウス (ZVW30 : 2009.5 ~)** のハロゲンバルブを H.I.D. バルブに交換するためのシステムです。  
安全に正しくご使用して頂くために、必ずご使用前に「取扱説明書」をよくお読みになり、内容を十分ご理解頂いた上でご使用ください。  
また、お読みになった後は、ご使用頂く方がいつでも見られるところにご購入の際のレシート、領収書等と一緒に保管してください。

### ⚠ 使用上のご注意

- 車両のパワースイッチがオフまたはACCの状態ではヘッドライトを点灯させないでください。  
バッテリー上がりやHIDシステムの不具合の原因となります。
- 車両、補機バッテリーの充電状態によりオートライトを併用しエンジン始動(レディー)した際、HIDが正常に点灯しない場合があります。  
点灯しない場合でも、ヘッドライトを一度、OFFにしてからONにすると正常に点灯します。予め、ご了承ください。

### 適合車種

- 車種 : トヨタ プリウス
  - 型式 : ZVW30
  - 年式 : 2009年(平成21年)5月~
- ご注意) LED ヘッドライト装着車には装着できません。(ハロゲンランプ装着車のみ適合)

### お客様へ

- 本製品は、プリウス (ZVW30) 【ロービーム : H11 バルブ】専用の H.I.D. キットです。  
当該車両 (ロービーム) 以外でのご使用はできません。
- 本製品は、未登録車両への取付けはできません。必ず車両登録後に取付けを行なって下さい。
- 本製品を取付けの際には必ず整備工場や専門店にて取付けを実施して下さい。
- 本製品を装着することにより、ヘッドライトの光量がアップいたします。ハロゲンバルブ装着時とは異なる見え方をする場合が御座いますのでご了承ください。また、光軸調整を正しく調整してご使用下さい。
- 本製品は、高電圧を発生するシステムですので、絶対に改造は行わないで下さい。
- 本製品は、車検に対応する要件を満たしておりますが、車検官の目視判断される場合が御座います。ご了承ください。
- 本製品取付け後、灯具のレンズ及びリフレクターが濁ったようになる場合がございます。当該事象は経年劣化でも起こりうる事例であり保証対象外となりますので予めご了承ください。

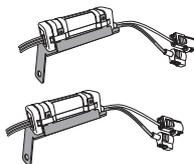
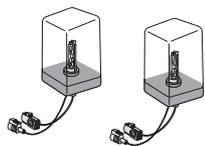
### H.I.D. バルブの特性に関して (発光色)

- H.I.D. バルブは、点灯初期から点灯安定までの間で発光色が変化いたします。  
点灯直後から数分間は、黄色や青といった本来の発光色とは異なる色具合になる場合が御座いますが、H.I.D. システム特有の現象ですので不具合・故障ではありません。
- H.I.D. バルブ交換直後に関しては、本来の色具合とは異なる色具合となる場合がございます。
- H.I.D. バルブは、ご使用経過時間に伴い、発光色が変化いたします。従いまして、バルブ切れなどによりバルブを交換される際には、左右のバルブを同時に交換されることをお勧めいたします。

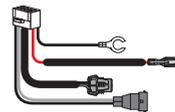
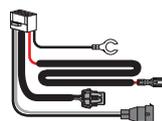
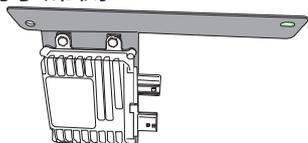
## 商品構成

※取付け前に部品が全て揃っていることをご確認ください。

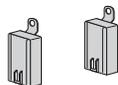
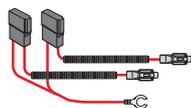
- ①H.I.D. バルブ (H11) ×2    ②イグニタステー Assy ×2    ③インバータステー Assy ×1  
運転席側



- ④インバータステー Assy ×1 助手席側    ⑤リレーステー ×1    ⑥ハーネス (R) ×1    ⑦ハーネス (L) ×1



- ⑧電源ハーネス ×1    ⑨リレー ×2    ⑩コルゲートチューブ ×2    ⑪インシュロック ×8



- ⑫スペーサー ×1    ⑬ボルト M6×15 ×5    ⑭ボルト M6×10 ×2    ⑮M6 平ワッシャー ×2



- ⑯M6 スプリングワッシャー ×5    ⑰M6-20 平ワッシャー ×3    ⑱M6 フランジナット ×6    ⑲M6 ナット ×1



## 取付上の注意事項

- 車両部品の取り外し及び取付けは、車両の整備要領書に基づいて行なって下さい。
- 作業をはじめる前に以下の注意事項をよくお読み頂き、正しい取付けを行なって下さい。
- 注意事項を守らなかったために発生した不具合については責任を負いかねる場合がございます。
- 本製品には取付工賃は一切含まれておりません。また、クレーム時の作業工賃等の保証は一切致しかねますので予めご了承ください。

### ⚠ 注意

- 取付け作業は火傷の恐れがありますので、エンジン及びヘッドランプが冷えている状態の時に行ってください。
- H.I.D. バルブ交換作業は、必ず平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。また、車両はエンジンを停止させ、サイドブレーキを掛け、ギアはニュートラルかパーキングにして行って下さい。
- ランプ点灯時及び消灯直後はランプが大変高温となっており、火傷の恐れがありますので、絶対に触れないでください。
- H.I.D. バルブは、落としたり、キズを付けたりしないで下さい。また、ガラス部に手で触れたり、汚れを付着させたりしないで下さい。機能の低下や寿命時間の低下につながる場合があります。万が一、触れてしまった場合はアルコールで汚れを取り除いて下さい。
- コネクタやターミナル端子の脱着は、リード線を引っ張らずに本体をもって確実に行って下さい。リード線の断線や不確実な接続は、不点灯の原因となります。

## 安全上のご注意（必ずお読みください）

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止する為のものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示する為に、誤った取扱いをすると生じる事が想定される内容を以下のように**警告**と**注意**に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。



警告



注意

**警告**：人が死亡または重症を負う可能性が想定される場合の内容

**注意**：人が障害を負う可能性及び物的損害が想定される内容



警告

- ガラス球内部の圧力が高い為、落したり、物をぶつけたり、無理な加工を加えたり、キズをつけたりしないで下さい。バルブが破損した場合、ガラスの破片が飛び散り、ケガの原因となります。
- バルブ交換時は必ず電源を切り、バッテリーのマイナス端子を外してから作業を行なって下さい。また、バッテリーを外していても安定器（バラスト）内に残った電気が放電する場合がありますので、作業の際はゴム手袋等を着用して下さい。感電やケガ、火災の原因となります。
- バッテリー端子を外すと、時計やオーディオ等のメモリーがリセットする場合がございますので、事前にメモリー内容を控えた上で作業を行なって下さい。（修正方法は車両のお取扱説明書をご参照下さい。）
- 取付け時はバルブコネクターの接続を確実に行って下さい。また、ハーネス（電線）の噛み込みが無いよう、確実に装着して下さい。火災の原因となる事があります。
- バルブ単体で絶対に点灯させないで下さい。灯具を装着せずに点灯すると感電や破裂の恐れがあり、大変危険です。
- バルブは水気を避けてください。水気が点いたまま点灯すると破裂の恐れがあります。万一、水気が付いてしまった場合は、よく拭き取り十分に乾燥させてから使用してください。
- バルブとコネクターを接続しない状態では、絶対に電源を ON にしないで下さい。バルブコネクター部分には高電圧が発生し、感電する恐れがあります。
- 電源が ON の状態では高電圧が発生し、感電する恐れがあり、大変危険ですのでバルブ、ハーネス等に触れたまま電源を入れしないで下さい。また、点灯中は絶対にバルブコネクターを抜かないで下さい。
- 点灯時に紙や布などで覆ったり、燃えやすい物を近づけないで下さい。火災等の原因となります。
- 引火する危険性のある物（シンナー、ガソリン）付近では点灯しないで下さい。爆発や火災の原因となります。
- 幼児の手の届く所にバルブを置かないで下さい。飲み込んだり、割ってケガの原因となる事があります。
- バルブを改造して使用しないで下さい。故障の原因となるだけでなく、感電、破裂、火災、発煙の原因となり大変危険です。



注意

- 灯具へ装着する際は、外管ガラス球部分に落下等の強い衝撃や灯具との接触による傷等を与えないように注意してください。また、これらの衝撃や傷等を与えたバルブは絶対に使用しないでください。破裂の原因になる事があります。また、使用済みのバルブは割らないで下さい。ガラスの破片が飛び散り、ケガの原因となります。
- 点灯 / 消灯を頻繁に繰り返すと寿命低下や不点灯の原因となります。
- 本製品は製品の特性上、使用初期の照射色から、点灯時間及び劣化の進行により照射色が変化します。
- バルブコネクターの接続は確実に行って下さい。不確実な接続は不点灯や発火、発煙の原因となります。
- 長時間停車時の連続点灯は灯具内温度が上昇し、灯具損傷やバルブの不具合の原因となりますので避けてください。
- 正確に装着したにもかかわらず、点滅を繰り返したり発光色が極端に変化し、正常に点灯しない場合は速やかに弊社または購入店にご相談下さい。
- バルブ切れ等によりバルブを交換する際は、左右のバルブを同時に交換してください。片側のみを交換すると、左右の照射色違いの原因となります。
- ヘッドライトの形状（ヘッドライトの大きさ、フロントレンズ、リフレクター）により車両によっては照射色の見え方が異なる場合があります。また、見る角度により色味が異なる場合があります。予めご了承ください。

# H.I.D. キット取付け手順

## 1 装着準備

エンジンを停止させ、パーキングブレーキがかかっていることを確認。

装着作業前に、バルブケースに入れた状態で、①H.I.D. バルブの点灯テストを P9 6-1「リレーハーネス Assy 接続配線図」を参照し、仮配線を行ない点灯テストを実施して下さい。

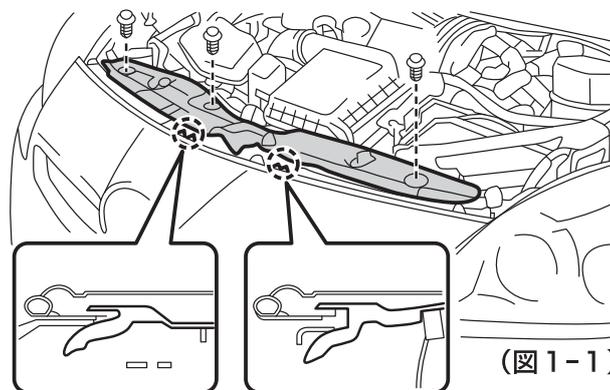
- ※注意
- 点灯時間は 10 秒程度で終了させて下さい。
  - システムの破損の原因となりますので、電源接続の際、プラス (+)、マイナス (-) を絶対に間違えないで下さい。
  - 装着前のテストを怠り、ケースの封印を開封した場合、及び装着作業中に発生した破損等はクレームの対象外となりますのでご了承下さい。
  - 破損や作動不良の原因になるので、インバータケースにバッテリーのプラス電位が触れないようにご注意ください。

点灯テストで正常に点灯したらバッテリーのマイナス端子を外して下さい。バッテリー端子を取外すと、時計やオーディオ等のメモリーがリセットする場合がございますので、事前にメモリー内容を控えた上で作業を行なってください。

## 2 フロントバンパーの取外し

車両の整備要領書を良くお読みになり、配線等を傷つけない様に十分注意して取外してください。

また、取外したビスやボルト等はなくさないように注意して下さい。



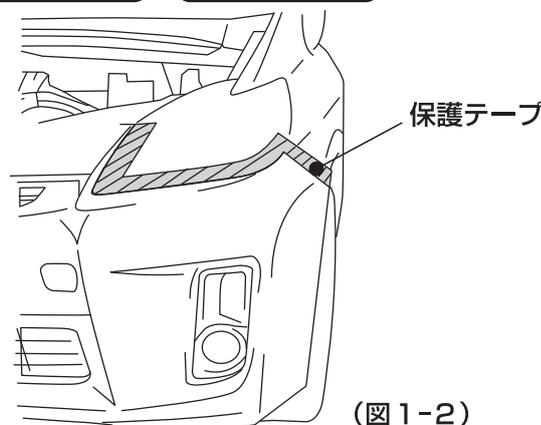
### 2-1 ラジエターサポートオープニングカバー取外し

クリップ 3 個を取外してください。

ツメのかん合部 2 箇所を外し、ラジエターサポートオープニングカバーを外してください。(図 1-1)

### 2-2 パーツの保護

フロントバンパー周辺にキズ防止の為、保護テープを貼付けてください。(図 1-2)



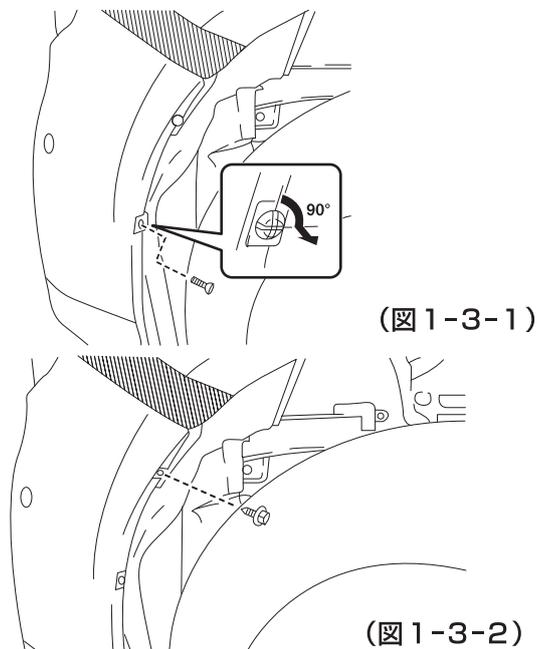
#### アドバイス

- ・右側も同様に、保護テープを貼付けてください。

### 2-3 フェンダー内部の取外し

マイナスドライバーを使用し、ピンホールドクリップを 90° 回し、ピンホールドクリップを取外してください。(図 1-3-1)

スクリューを取外してください。(図 1-3-2)



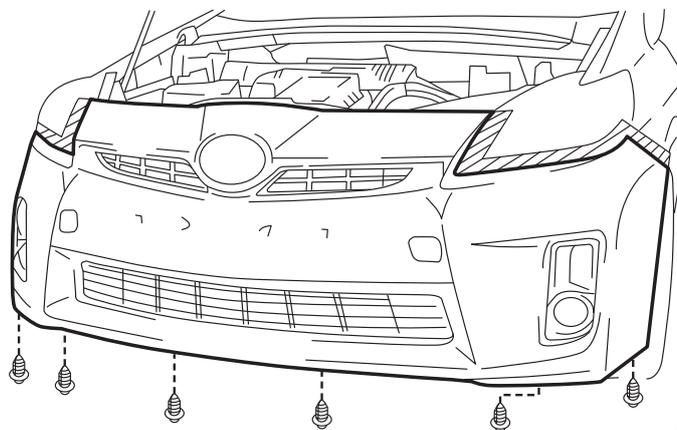
#### アドバイス

- ・右側も同じ要領で取外してください。

**2-4 バンパー下側の取外し**

クリップリムーバーを使用して、クリップ 2 個  
を取外してください。

スクリュー 4 本を取外してください。(図 1-4)

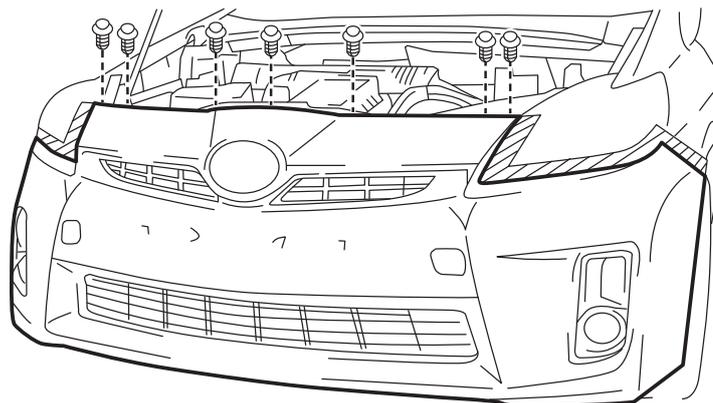


(図 1-4)

**2-5 バンパー上側の取外し**

クリップリムーバーを使用して、クリップ 5 個  
を取外してください。

ボルト 2 本を取外してください。(図 1-5)



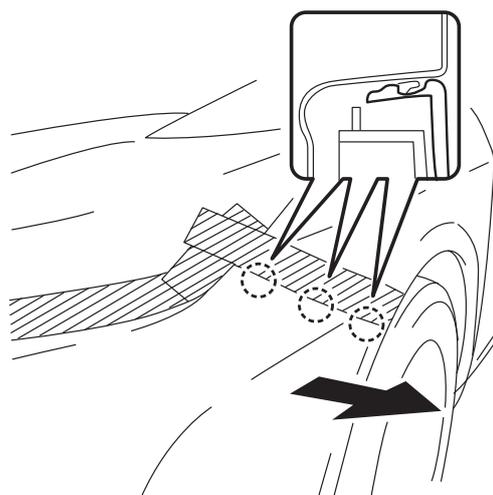
(図 1-5)

**2-6 フロントバンパーの取外し**

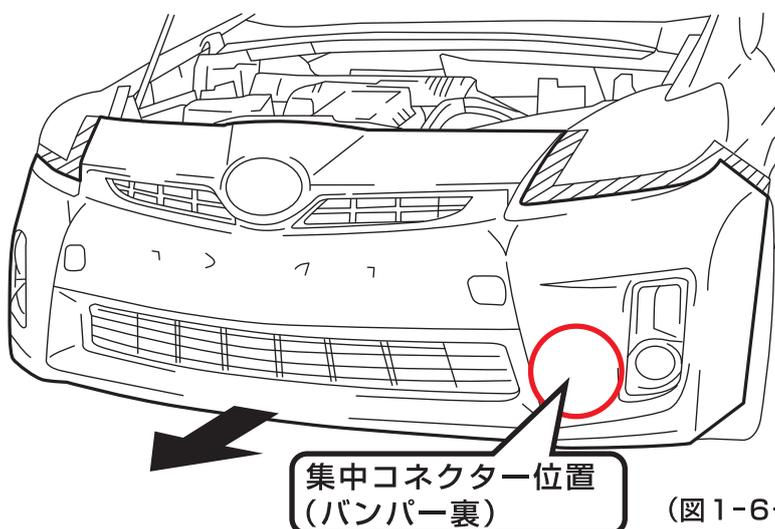
フロントバンパー Assy を外側に引きツメの  
かん合 3 箇所を外してください。(図 1-6-1)

図の矢印方向に引き、フロントバンパー Assy  
をずらしてください。(図 1-6-2)

各コネクタを切離しフロントバンパー Assy  
を取外してください。



(図 1-6-1)



集中コネクタ位置  
(バンパー裏)

(図 1-6-2)

### 3 ヘッドランプの取外し (左側)

ボルト及びスクリュー 2 本を取外してください。  
保護テープを巻いてマイナスドライバーを使用してツメのかん合を外してください。(図 2-1)

#### アドバイス

・保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用してください。

配線クランプのかん合を外してください。

各コネクターを切り離し、左側ヘッドライト Assy を取外してください。

#### アドバイス

・右側も同じ要領で取り外してください。

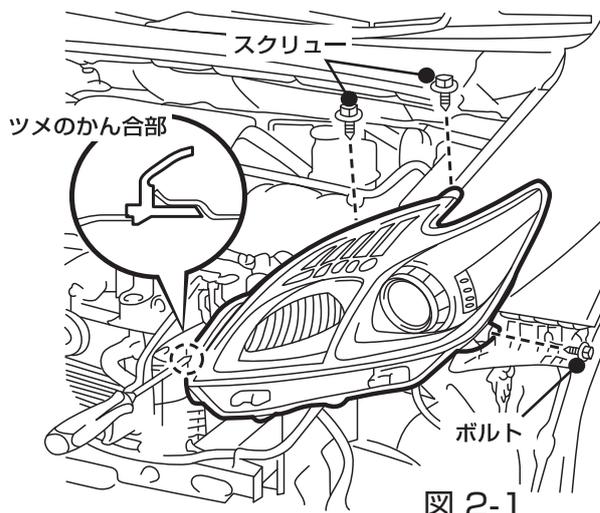


図 2-1

### 4 ハロゲンバルブ (Lo ビーム側 : H11 バルブ) の取外し

車両の整備要領書を良くお読みになり、Lo ビーム側のハロゲンバルブ (H11 バルブ) を取外してください。  
(図 2-2)(時計と反対周り回転にてロックが外れます。)

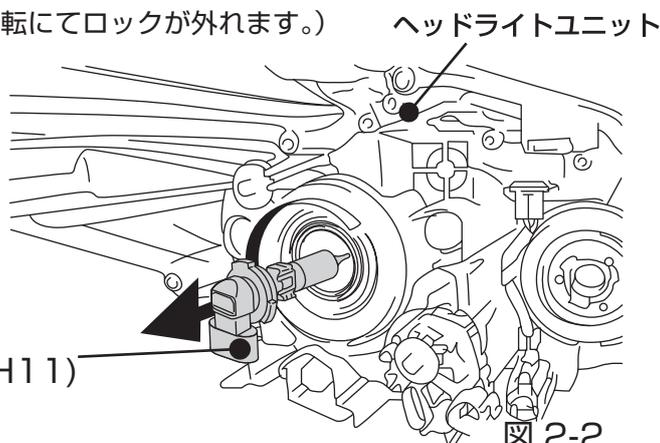


図 2-2

### 5 H.I.D. バルブの取付け

①H.I.D. バルブ (H11) を灯具に取付けます。(時計回り回転にてロックがかかります。)

※バルブは灯具に対して真っ直ぐに挿入してください。斜めに入れるとバルブが破損します。

(図 2-3)(バルブガラス管の破損は保証対象外となります。)

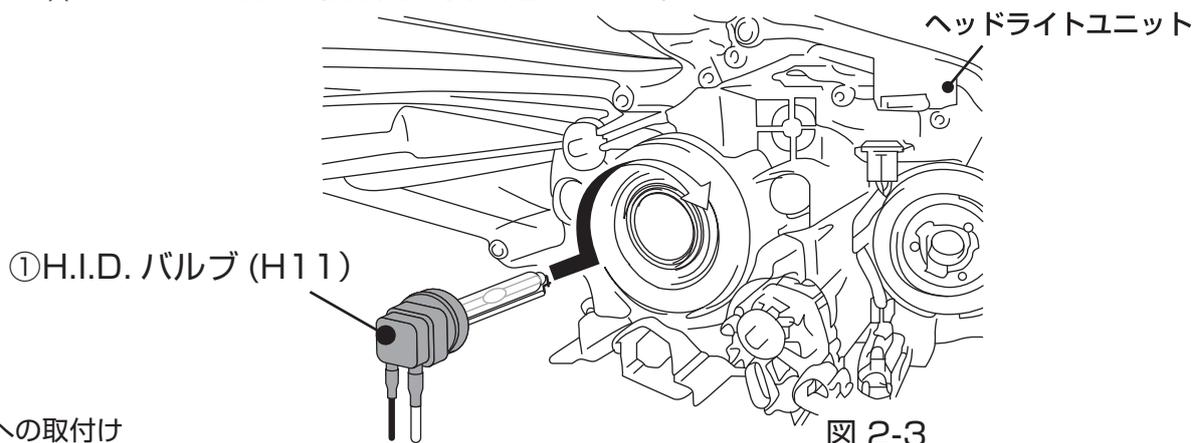


図 2-3

### 6 車両への取付け

車両下記指定箇所に②イグニタステー Assy・③インバータステー Assy 運転席側・④インバータステー Assy 助手席側を取付けます。(詳細は工程 5a、5b、5c をご参照ください。)

③インバータステー Assy  
運転席側 (P7 5b 参照)

②イグニタステー  
Assy(P7 5b 参照)



④インバータステー Assy  
助手席側 (P8 5c 参照)

②イグニタステー  
Assy(P8 5c 参照)

### 5a 車両への取付け【フロントフェンダープロテクターの取外し】

車両下記ステー Assy の取付け箇所には『フロントフェンダープロテクター』が装着されている車両については、『フロントフェンダープロテクター LH(助手席側)』を取外してから、作業を行なって下さい。(再使用しない)



フロントフェンダー  
プロテクター LH(助手席側)

### 5b 車両への取付け【②イグニタステー Assy、③インバータステー Assy 運転席側】

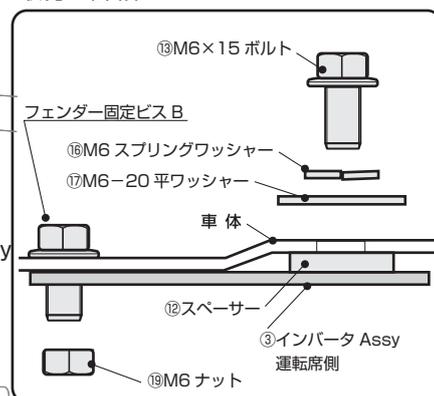
車両に、②イグニタステー Assy、③インバータステー Assy 運転席側を取付けします。

5 b-1 : 車体に傷をつけないように注意して、**フェンダー固定ビス B** と③インバータステー Assy 運転席側**穴 B** を合わせ、本製品付属の⑱M6 ナットを使用し取付けます。

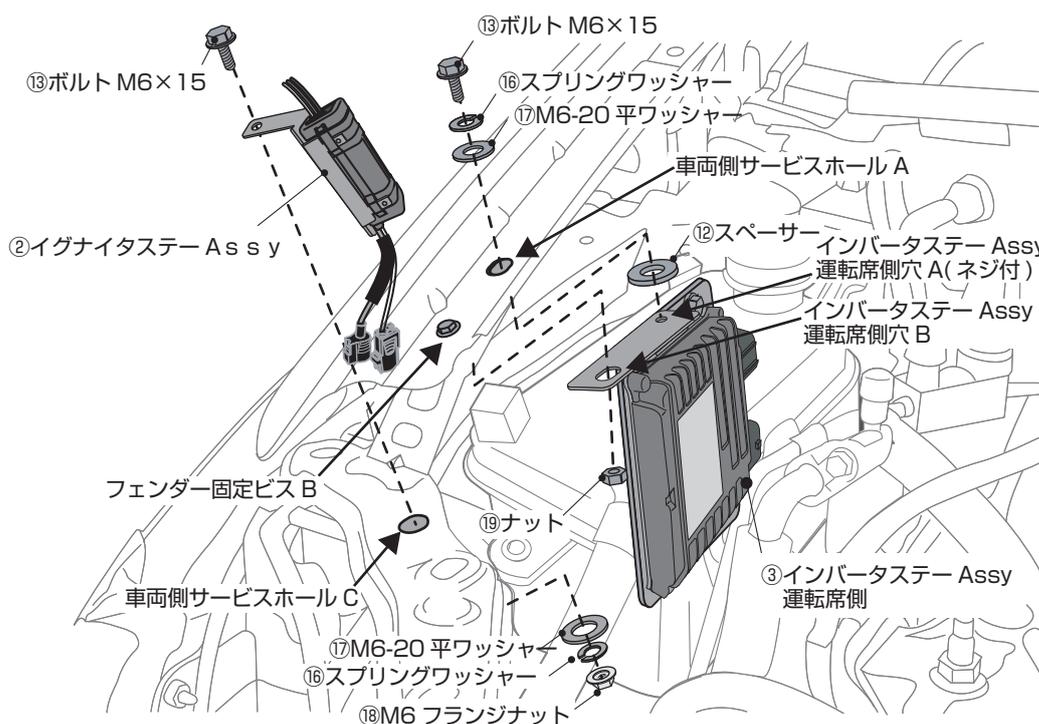
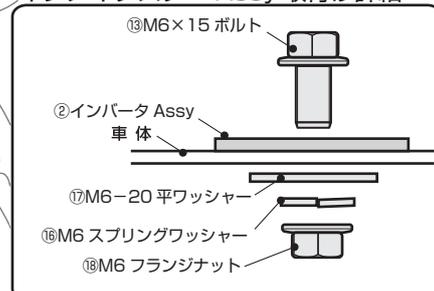
5 b-2 : **車両側サービスホール A** と、③インバータステー Assy 運転席側**穴 A(ネジ付)** を合わせ、本製品付属の⑬M6×15 ボルト、⑯M6 スプリングワッシャー、⑰M6-20 平ワッシャーをセットし車体と③インバータステー Assy 運転席側の間に⑫スペーサーを挟み、③インバータステー Assy 運転席側を固定します。

5 b-3 : **車両側サービスホール C** と、②イグニタステー Assy 穴を合わせ、本製品付属の⑬M6×15 ボルトをセットし、裏側から⑰M6-20 平ワッシャー、⑯M6 スプリングワッシャー、⑱M6 フランジナットの順にセットし、車体へ固定します。

インバータステー Assy 運転席側  
取付け詳細



イグニタステー Assy 取付け詳細

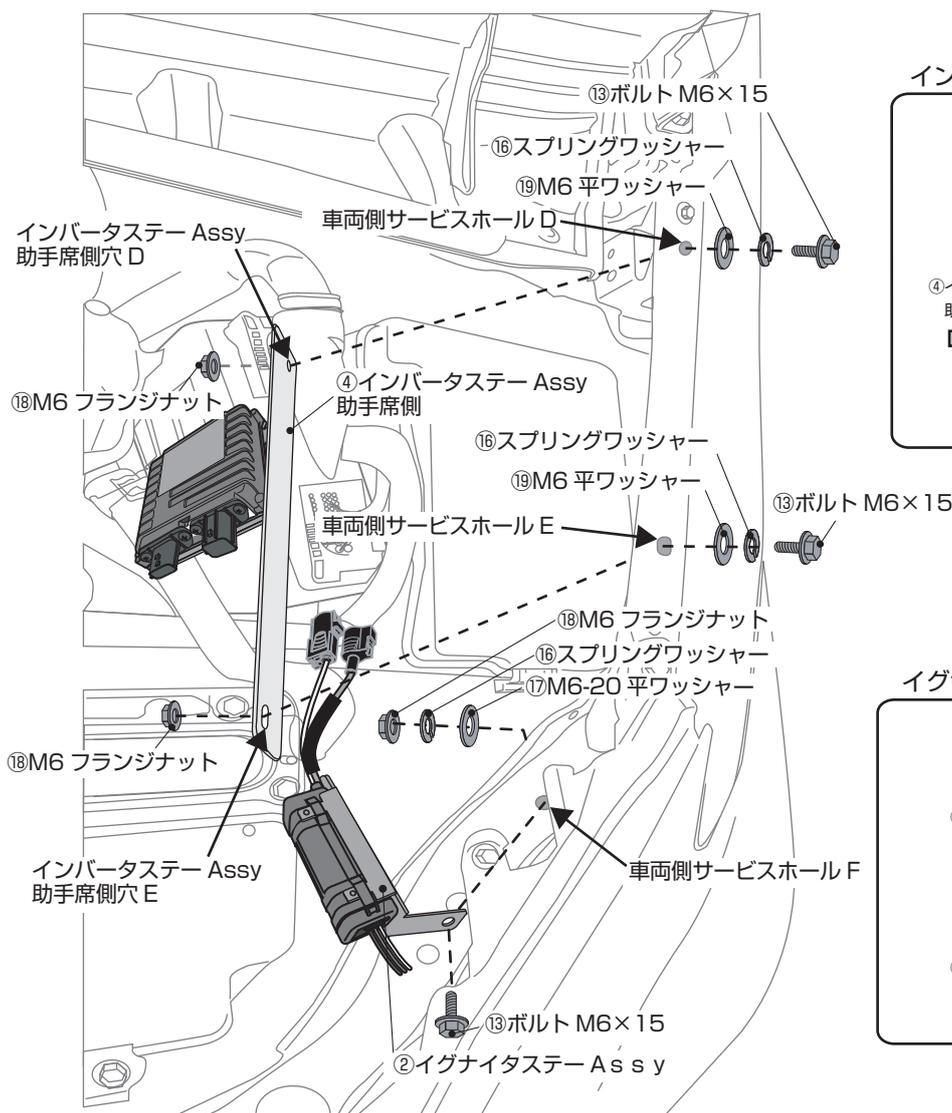


## 5c 車両への取付け【②イグナイトステー Assy、④インバータステー Assy 助手席側】

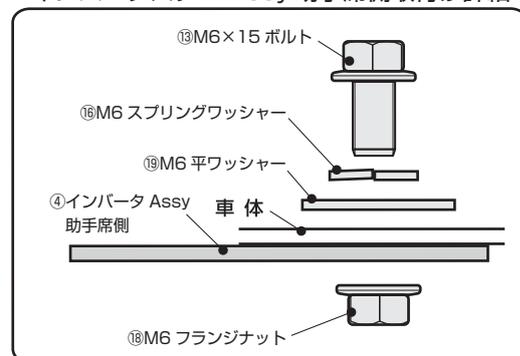
車両に、②イグナイトステー Assy、④インバータステー Assy 助手席側を取付けします。

5c-1：車体に傷をつけないように注意して、**車両側サービスホール D** と、③インバータステー Assy 助手席側穴 **D** **車両側サービスホール E** と③インバータステー Assy 助手席側穴 **E** を合わせ、本製品付属の⑬M6×15 ボルト、⑯M6 スプリングワッシャー、⑰M6 平ワッシャーをセットし、下側から⑱M6 フランジナットで④インバータステー Assy 助手席側を車両に固定してください。

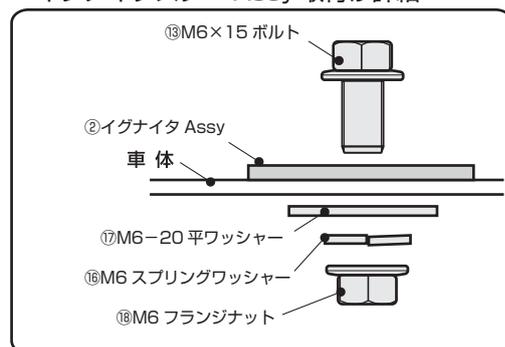
5c-2：**車両側サービスホール F** と、②イグナイトステー Assy 穴を合わせ、本製品付属の⑬M6×15 ボルトをセットし、裏側から⑰M6-20 平ワッシャー、⑯M6 スプリングワッシャー、⑱M6 フランジナットの順にセットし、車体へ固定します。



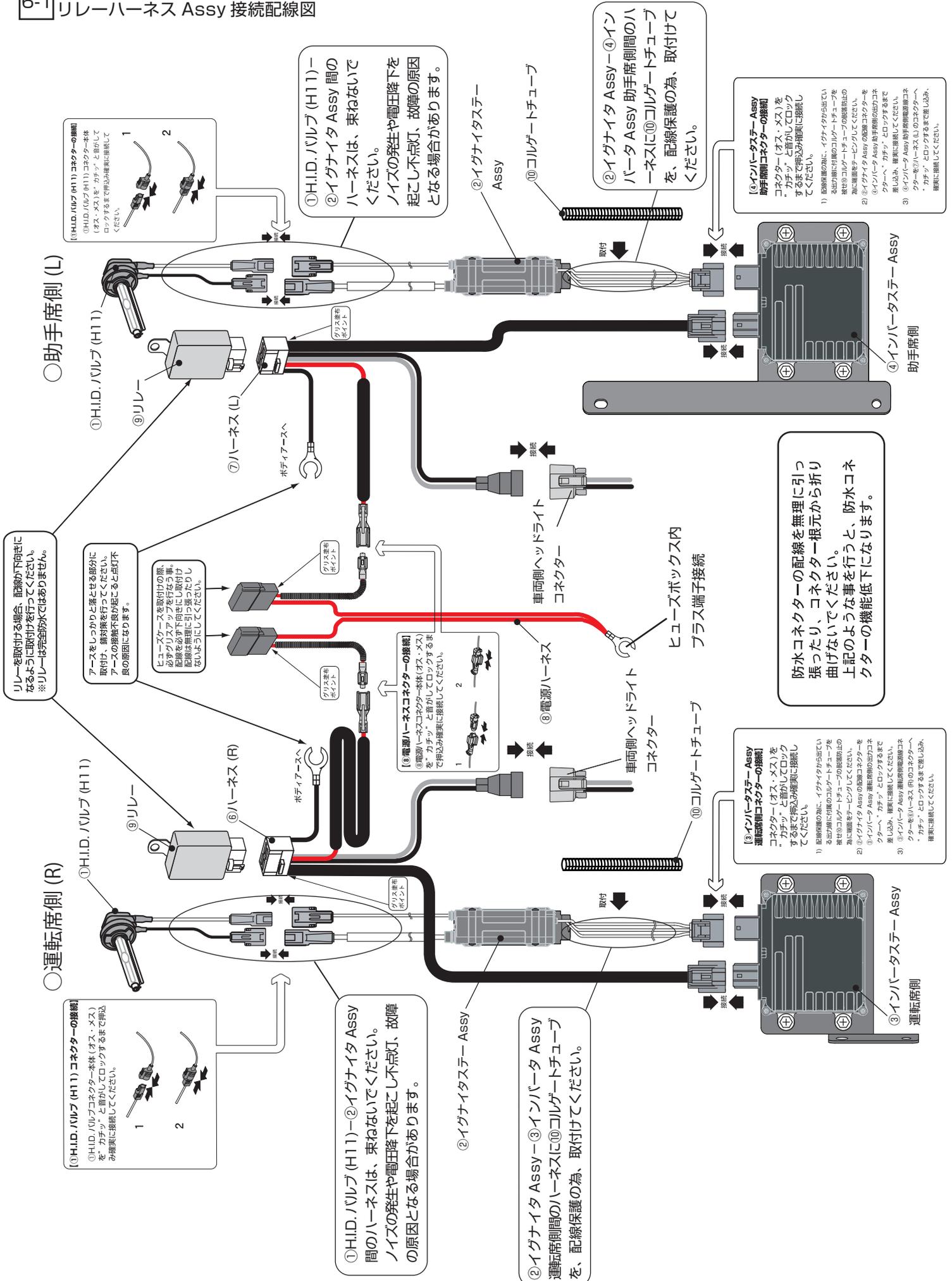
### インバータステー Assy 助手席側取付け詳細



### イグナイトステー Assy 取付け詳細



6-1 リレーハーネス Assy 接続配線図



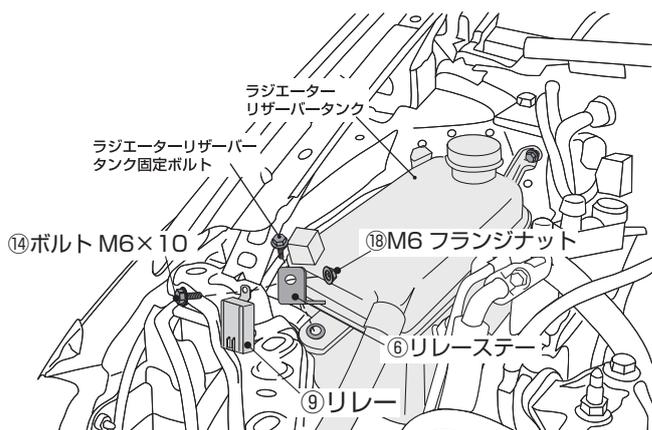
## 6-2 H.I.D. システム配線図及び推奨位置



- A: リレー固定ポイント (R)
- B: リレー固定ポイント (L)
- C: プラス端子
- D: アースポイント
- E: アースポイント

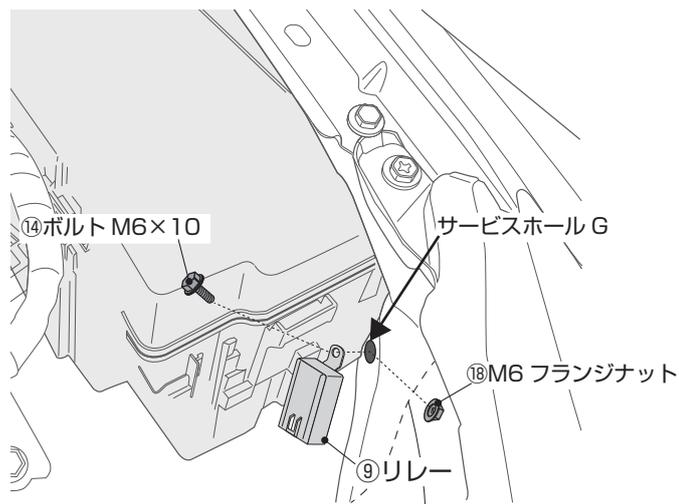
### 6-3-1 リレーステー、リレー取付け (運転席側)

A: 車両のラジエーターリザーバータンク固定ボルトを外し、  
⑨リレーステーを固定してください。  
固定できたら、⑨リレーを⑭M6×10 ボルト、⑱M6 フランジナットで⑥リレーステーへ固定してください。



### 6-3-2 リレー取付け (助手席側)

B: 車両のサービスホール穴 G を使い、⑨リレーを⑭M6×10 ボルト、⑱M6 フランジナットで固定してください。



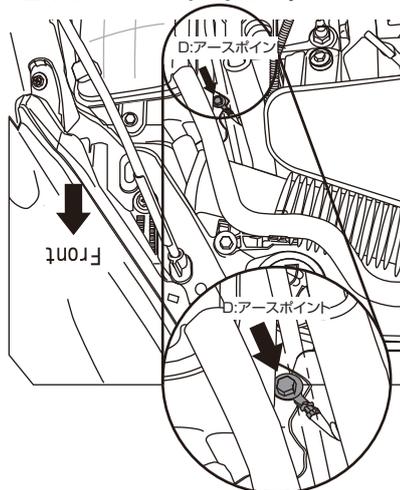
### 6-4 電源ハーネス取付け

C: 車両のヒューズボックスカバーを外し、⑧電源ハーネスの電源端子を電源ポイントへ接続してください。

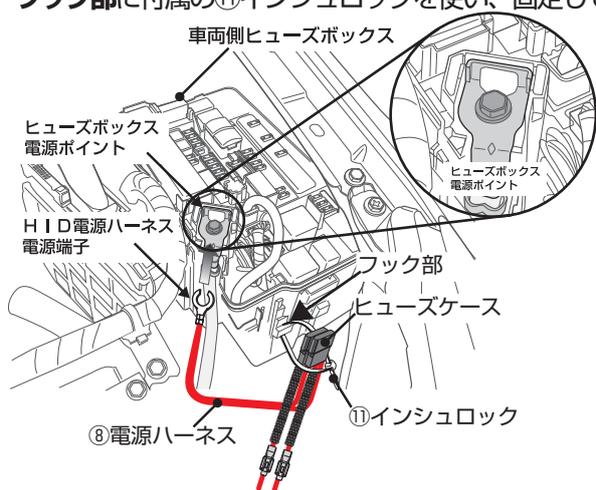
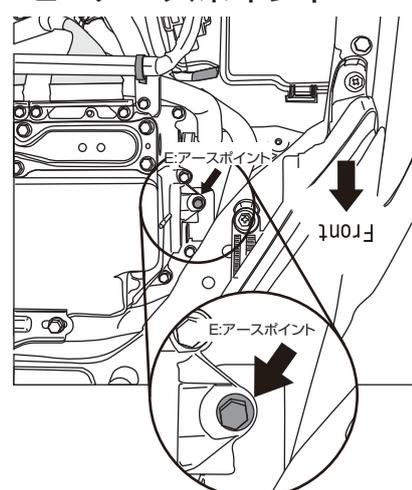
⑧電源ハーネスのヒューズケースを、ヒューズボックスのフック部に付属の⑪インシュロックを使い、固定してください。

D, E: アースポイントにハーネス (R)、(L) の黒線のマイナス端子を接続してください。

#### D: アースポイント



#### E: アースポイント



## 7 バッテリー端子の接続

取外したバッテリーのマイナス端子を接続してください。

必要に応じて、控えたメモリー内容を復元してください。(時計やオーディオ等のメモリー情報)

## 8 配線確認、点灯確認

配線や取付けに間違いがないか確認をしてください。問題がなければ点灯確認を行なってください。

点灯テストの際には必ず走行可能な状態 (Ready) で実施して下さい。アクセサリ (ACC) 状態では点灯しない場合が御座います。

## 9 復元作業

車両の整備要領書を良くお読みになり、取外したフロントバンパーを元の状態にしてください。

## 10 光軸調整

ヘッドランプの光軸調整を行なってください。

## トラブルシューティング (故障かな?と思ったら・・・)

●バルブが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行可能な状態 (Ready) の状態にし、エンジンを始動してから確認をする。</li> <li>・コネクター類が確実に接続されているか確認する。</li> <li>・バッテリーが弱っていないか (9V 以上あるか) 確認する。</li> <li>・車両及びバラスト電源ハーネスのヒューズが切れていないか確認する。</li> <li>・片側だけ点灯しない場合は、点灯する側の「バラスト」を左右入れ替えてバルブが点灯するか確認する。</li> <li>・ヘッドライトを一度、OFF にしてから ON にしてバルブが点灯するか確認する。</li> </ul>
●配光がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バルブが正しい方向で取付けられているか確認する。</li> </ul>
●点灯した時の色合いが異なる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点灯直後から数分間は、黄色系や青色系などの本来の点灯色とは異なった色合いになる場合があります。これは H.I.D. システムの特性上発生する物で故障ではありません。</li> <li>・取付直後の点灯では、左右の色合いが異なる場合があります。これは H.I.D. システムの特性上発生するもので故障ではありません。</li> <li>・点灯時間を重ねるとバルブの点灯色は安定します。</li> </ul>

■車両、補機バッテリーの充電状態によりオートライトを併用しエンジン始動(レディー)した際、HIDが正常に点灯しない場合があります。

点灯しない場合でも、ヘッドライトを一度、OFFにしてからONにすると正常に点灯します。予め、ご了承ください。

■車両のパワースイッチがオフまたはACCの状態ではヘッドライトを点灯させないでください。バッテリー上がりやHIDシステムの不具合の原因となります。

